

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 森林再生のためのホースロギングを活用した自立的林業の実現とプロモーション動画制作 |
| 事業主体 (連絡先) | 信濃町ホースプロジェクト推進協議会 長野県上水内郡信濃町大字大井 2742・2041 アファンセンター内 |
| 事業区分 | ⑥ウ 森林づくりと林業の振興、⑥ア 特色ある観光地づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 2,886,500 円 (うち支援金: 2,164,000 円) |

事業内容

生物多様性を目指した森づくりの施行方法や、そのための手段として有効なホースロギングへの理解を深めていただくため、林業や木材加工等の関係者に向けたモニターツアーを2回開催しました。併せて、より広くこの意義を発信するためのプロモーション動画を制作しました。

・モニターツアー実施

県内事業者向け 2020年11月3～4日

首都圏の事業者向け 2020年11月13～15日

・動画制作

2020年8月～2021年3月



【ホースロギング視察体験】

【目標・ねらい】

- ①ホースロギングを視察いただき、新たなビジネスの創出につなげる。
- ②プロモーション動画を制作し、ホースロギングの意義を発信する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①モニターツアーでは、県内・県外の事業者等計20名に参加いただき、ホースロギングの様子を視察、体験いただいた。ツアーの目的や内容に関して参加者とスタッフとの意見交換を実施し、今後のホースロギングの取り組みやツアー造成に向けて有意義な意見をいただくことができた。

②プロモーション動画はモニターツアーの様子や参加者のコメントを効果的に取り入れ、ホースロギングの意義を伝えられるものとなった。今後の取り組みや体験ツアーのPRに活用したい。

※自己評価【A】

【理由】

- ・モニターツアー参加者から、体験の意義について高評価だった。
- ・参加者のニュース記事により全国にツアーの様子を発信できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

モニターツアーに参加していただいた多くの事業者との繋がりができた。この繋がりを活かし、一般向けにもホースロギングの取り組みを広めるための体験ツアー等のプログラムを作って発信に協力いただくほか、間伐材の利用に関しても引き続きご意見をいただき、木材を活用した商品の開発につなげたい。

また、プロモーション動画をアファンの森財団で活用することで、実際に信濃町に来られない方々にも広く取り組みを知っていただけるよう情報発信を強化していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある